

# 平成29年度地域ケア全体会議報告

平成29年11月18日

栄三丁目自治会

岡田正嗣

本年07月に開催された地区別ケア会議に引き続き11月18日に標題の「東大和市地域ケア全体会議」が中央公民館ホールにて関係者127名が集まり下記議事次第に従い開催されました。参加者はグループ分けされ、それぞれのグループに与えられたテーマに従い議論を行い、その結果を各グループの代表者がそのグループのワーク内容の発表を行いました。今後東大和市として行政機関、関連団体、地域が一体として「地域ケア」として何をすべきか、何が出来るかを考えさせられる有意義な会議でした。

## 平成29年度 地域ケア全体会議 次第

1. 日時 平成29年11月18日(土) 午後2時00分～午後4時00分
2. 場所 東大和市立中央公民館ホール
3. 内容  
総合司会：ほっと支援センターきよはら ・ 小西 かおる
- (1) 開会挨拶 東大和市地域包括ケア推進会議専門部会  
地域ケア会議部会 部会長 浦上 優子 14:00-14:05  
東大和市福祉部高齢介護課副参事  
地域包括ケア計画担当 尾又 斉夫 14:05-14:10
- (2) 地区別地域ケア会議の報告  
ほっと支援センターなんがい 富田 明彦 14:10-14:20
- (3) グループワーク
- 1) 概要説明 ほっと支援センターいもくぼ 朴 時玉 14:20-14:25
- 2) 自己紹介
- 3) 会議開始  
テーマ 「社会的に孤立している方への支援」  
検討事項 ・何らかの理由で病院受診ができなくなった方を医師にどのようにつなげるのか。  
・地域で役割をもって生活していくためには。 14:25-15:10
- 休憩 15:10-15:15
- 4) 発表 15:15-15:50
- (4) 総評  
地域包括ケア推進会議 座長 有村 章 15:50-15:55
- (5) 閉会の挨拶  
東大和市地域包括ケア推進会議専門部会  
地域ケア会議部会 部会委員 佐藤 長人 15:55-16:00

本年7月に開催された地域別ケア会議の要旨は以下の通りです。

## H29 年度 地区別地域ケア会議事例概要

### 本人の状況

結婚暦のない83歳女性。エレベーター付き集合住宅にて独居。身寄りは都外に

住む姪のみ。プライドが高く人の言うことはきかない。引きこもりで外出もせず、

近隣住民との関わりも希薄になってしまった。

介護保険未申請 認知症あり(専門医未受診) 主治医無し

身体的には自立しており、預貯金・年金もあり本人は困っていない。

姪が差し入れたもので生活が成り立っている。

### 課題

- ① 主治医不在 未受診である
- ② 頼れる親族が不在
- ③ プライドが高く支援を拒否している

### 共通意見

病院受診が途切れず、必要な時に病院へ行ける

年をとっても社会的な関わりが途絶えずに生活できる

## 地区別地域ケア会議報告書

※H29.7.13～7.20に開催された各地区地域ケア会議の要点まとめました

出席者	医師会 2名      歯科医師会 1名      薬剤師会 9名 居宅 25名      サービス事業者 34名      民生委員 47名 自治会 10名      社協 3名      包括・見守り 25名 市職員 3名      弁護士会 4名      その他 7名 <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">合計 170名</p>
グループ討議意見	<p>【テーマ】① 主治医不在 未受診の方へのアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日検診や介護保険申請を伴う受診を促す。</li> <li>・アウトリーチによる受診(介護保険申請や認知症、精神科)</li> <li>・すぐには受診につながらないので近所からの情報共有体制を作る(見守り体制)</li> <li>・教育者であったことを生かし本人が活躍できる立場で地域とかがかわれるとよい。</li> </ul> <p>【テーマ】②頼れる親族不在の方へのアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姪の負担にならない程度に連携を図り本人とのつながり強くする。</li> <li>・認知症独居の方への支援として内服支援ロボットを貸し出す方法がある。保険適用されるとより良いと思う。</li> <li>・本人をよく知り地域で居場所が作れるような働きかけも必要である。</li> <li>・成年後見人制度の活用や申請までの間、地域権利擁護事業を利用。</li> <li>・自治会長をやっていたことも踏まえ本人が心を開ける人脈がだれか、関わりのある方と訪問する。</li> </ul> <p>【テーマ】③プライドが高く支援を拒否している方へのアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プライドを尊重しながら低姿勢で接して挨拶をしていく。</li> <li>・自治会長をやっていたことから地域に愛着もあるはず。本人との人脈も考えつながりを作る</li> <li>・高齢者は歳が近い人よりも孫くらいの年の離れた人の云う事を聞くことがある為地域の子供や若い人たちとの協力体制があると良いと思う。</li> <li>・自治会長等の経験を生かし地域の見守りやその他の活動に参加を促す。</li> <li>・多くのサロンがあるので本人の参加しやすい環境づくりが大事。</li> <li>・本人は困っていないので地域と顔見知りになり信頼関係を作る。</li> </ul> <p>※ とにかくあきらめなくて粘り強く訪ねていき、「顔を覚えてもらう」という意見がどの項目でもあった。</p>